

学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

学年 1・2 教科・領域 学級活動 単元・題材等 たのしい給食、いろいろと食べよう

単元・題材等の目標 食べ物の栄養についての話を通して、給食の役割について知り、何でも食べると丈夫な体になることに気づき、好き嫌いしないで自ら進んで何でも食べようとする意欲をもつ。

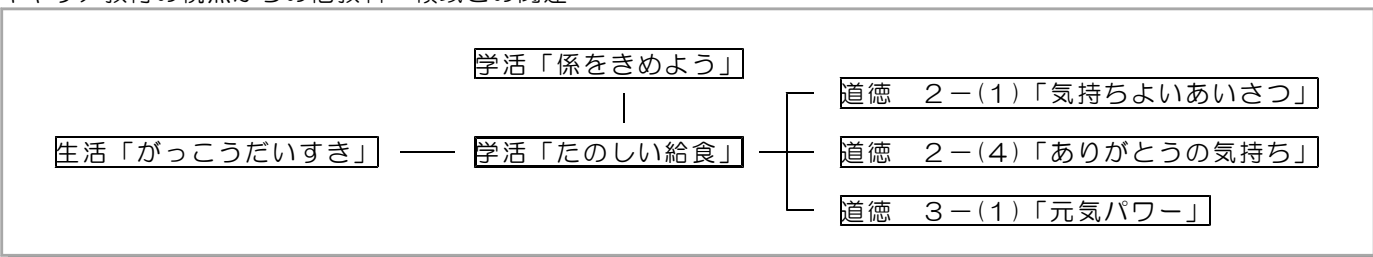
○活用できる学校外の人材と内容等

学校栄養士や給食調理師など
*来校してもらい、給食についての話や栄養と健康、食の大切さなどについて話をしてもらう。

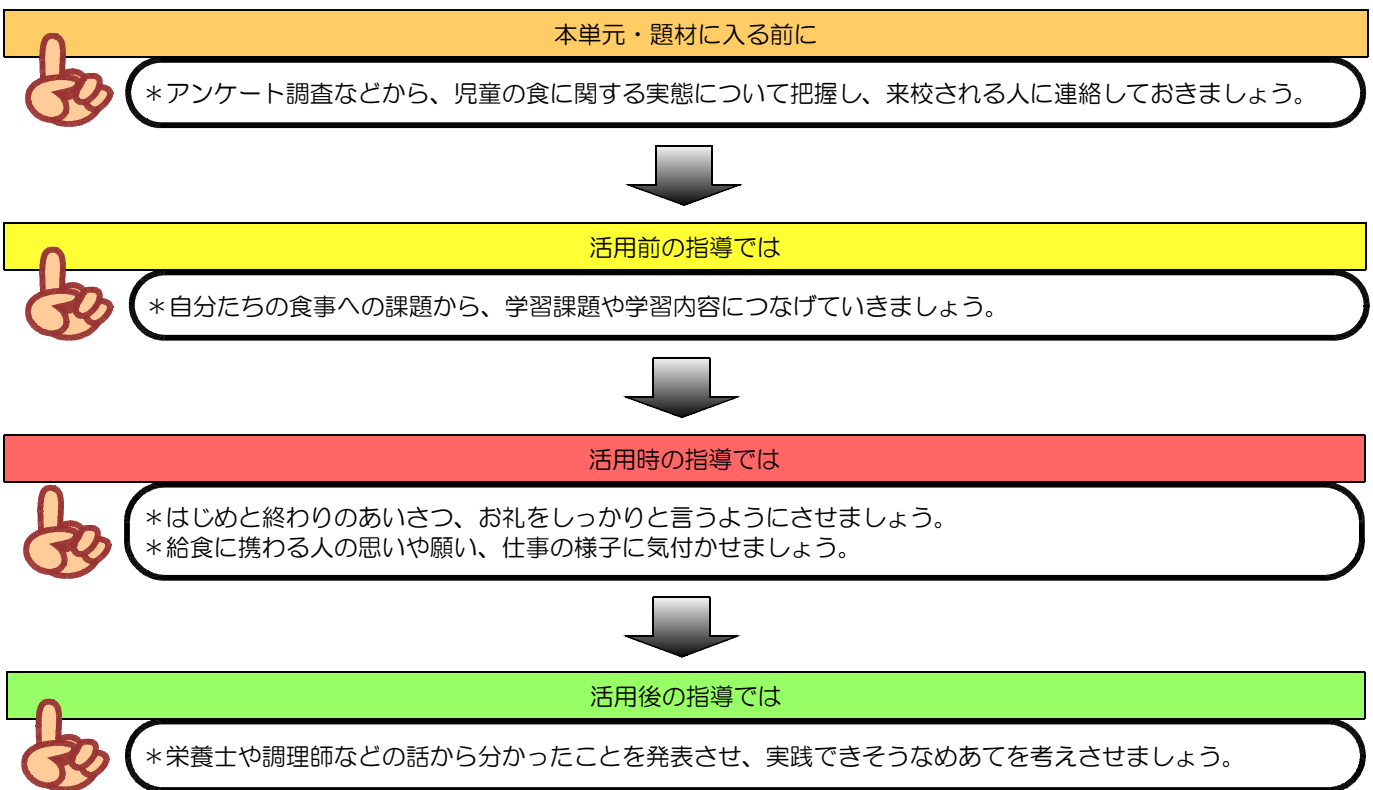
○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度
*太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

- ・給食や栄養の話をしてくれた人に感謝する。【**自他の理解能力**】
- ・給食や栄養の話をしてくれた人にあいさつや返事をし、お礼を言う。【**コミュニケーション能力**】
- ・給食の仕事に携わる人の様子が分かり、興味・関心をもつ。【**情報収集・探索能力**】
- ・当番として割り当てられた仕事に取り組み、役割分担の必要性が分かる。【**役割把握・認識能力**】
- ・食事の取り方にかかわる自分のめあてをもち、実践しようとする。【**課題解決能力**】

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連



○学校外の人材を活用するポイント



○学校外の人材を活用する指導の流れ

活用前の指導

①課題をつかみ、学習内容を知ろう
◆諸資料やアンケートなどの児童の実態から、課題について気づき、学習する内容を知る。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●自分たちの食事についての課題に気付く。 私は、好き嫌いが多いです。 ●本題材の課題をつかみ、学習内容について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○好き嫌いに関するアンケート結果や食べ方の問題点、諸資料などから、自分たちの食事のしかたへの課題に気付かせる。 ○望ましい食事のしかた、給食の取り方ができるような課題を設定する。

評価の観点
・自分たちの食事についての課題に気付く。
・本題材の課題をつかみ、学習内容について知る。

活用時の指導

②栄養士や調理師などの話を聞き、食べ物について考えよう
◆食べ物や栄養の働き、給食の役割やどんな思いで給食が作られているかを知り、食べ物と健康について考える。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●はじめのあいさつをする。 【コミュニケーション能力】 ●給食の献立などから、食べ物（食品）さがしをする。 ●給食にたくさんの食品が使われている理由について考える。 ●栄養士などの話を聞き、食べ物について考える。 【情報収集・探索能力】 【役割把握・認識能力】 ●給食を作ることに携わっている人たちの思いを知り、感謝の気持ちをもつ。 【自他の理解能力】【コミュニケーション能力】 	<ul style="list-style-type: none"> ○来校された人を紹介し、あいさつをさせる。 ○献立には、どのような食品が使われているか挙げさせる。 ○たくさんの食品を使った給食の意義について考えさせる。 ○バランスよく食べることの大切さ、給食の献立がバランスを考えて作られていること、などを話してもらうようにする。 ○話を聞いて知ったことや思ったことなどを発表させ、感謝の気持ちを表すようにさせる。

評価の観点
・給食の役割や食事をバランスよく取ることの大切さが分かる。
・話をしてくれた人、給食の仕事に携わっている人に感謝の気持ちを表すことができる。

活用後の指導

③学習のまとめをし、実践できそうなめあてを考えよう
◆分かったことを発表し、ワークシートにまとめ、先生の話聞いて、めあてを考え、発表する。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●栄養士などの話を振り返り、分かったことを発表する。 ●これから実践していこうと思うことをワークシートに記入する。 【課題解決能力】 	<ul style="list-style-type: none"> ○栄養士などの話から、新たに知ったことや印象に残ったことなどを発表させる。 ○望ましい食事の取り方と今までの自分の食事について振り返らせ、比較させることで、実践しようという意欲をもたせるようにする。

評価の観点
・栄養士などの話を振り返り、実践できそうな自分のめあてを考えることができる。